

NO.12 (部署) マーシャル

業務概要	業務詳細
マーシャルの編成	*トラック競技役員、跳躍競技役員、投てき審判部署等との連携を密にし安全安心の任務遂行に務める。
関係者以外の者の入場規制	①トラックではスタートとフィニッシュ、フィールドでは跳躍と投てきのグループを編成して任務にあたる。 ②競技者、競技役員、競技担当ボランティア（補助員）、サービススタッフ、報道関係者、テレビクルーの競技場内への入場コントロールを管理する。 (競技者以外は、競技場内に入ることを許可された、特別なビブスやADカードの着用の確認)
安全確保	1)同時に行われる競技の入退場の導線確保及び競技中の安全確認（トラック競技とフィールド競技の交差エリア等） 2)競技直前準備～競技中に競技者・関係者以外の者が競技場内に入っていないか注意する。 3)競技者が待機場所から勝手に他の地域に行かないように注意する。
トイレ移動	4)競技者がトイレに行く場合は、トイレまで付き添い連れ帰る。*審判人数が足りない場合グラウンドを出てからボランティアがトイレまで付き添う。 (女性競技者には女性に対応することを基本とする) 5)報道関係の撮影エリア区域でも、危険に注意して取材するよう指導する。
観客のコントロール	6)スタート付近の混雑防止にあたる。(Quiet please before the startなどのボード必要) *ボランティアがボードを掲げる
トラック種目スタート時	7)競技終了後の競技者がフィニッシュ付近に立ち止まらないように注意する。(フィニッシュ後、倒れこむ競技者への対応を迅速に行う)
フィニッシュ時 ミックスゾーンへの移動	8)競技を終了した競技者を、ミックスゾーンまで誘導する。 9)競技中に途中棄権し退場した競技者に対して指示と誘導をする。
コーチ席の管理	10)競技中にケガ等で途中棄権した競技者への対応（状況確認・関係部署への連絡）および退場誘導をする。 11)スタート、フィニッシュ付近、フィールドの報道関係者の撮影区域に注意する。 12)不正スタートで失格した競技者を出発係から引き取り、ミックスゾーンまで誘導する。(出発係はスタートエリアからボード裏までエスコートし、その後マーシャルが誘導する) 13)観客席側にいるマーシャル：コーチパスの確認。 14)トラック側にいるマーシャル：コーチと競技者のやり取りを管理する。 ※ボランティアが行う業務：4)と6)
	〈引継ぎ・連携部署〉 ◎各審判との連携：スタート競技役員・跳躍競技役員・投てき競技役員、PCEとの連携を図る →PEC：マーシャルはミックスゾーンまで誘導します。ミックスゾーンでPECと引き継ぎます。

業務概要	業務詳細
【共通】	<ul style="list-style-type: none"> ・本資料は、世界パラ陸上の監察員向けに編集した資料である。 ・健全者と同一の規則は（原則）記載していない。 ・各競技の配置は、当日（デイリーで配布?）配付する監察員配置表による。（添付1参照） ・各監察地点の監察員は配置（準備）完了を主任に無線機で報告する。 ・規則違反があればレース終了後、黄旗を挙げて示す。 ・規則違反があった場合、主任に速報を無線機で報告する。競技終了後、違反の内容、レーンナンバー、ピブスナンバー、ユニフォームの色等を報告する。 ・途中棄権の選手があれば、主任に無線機で報告する。途中棄権は黄旗を挙げない。 ・監察範囲内で異常がなければ、速やかに主任に無線機で「異常なし」を報告する。 ・主任は監察員から報告があった規則違反の内容を、無線機でビデオ判定室に報告するとともに記録用紙をトラック審判長に渡す。 ・競技者にあるまじき行為、下品な行為（スポーツマンシップに反する行為）が確認された場合は、無線機で主任に報告する。 ・不正出発があった場合は、主任に無線機で報告する。 ・広告ボードやレーンカメラの外側で監察する。
【車いす】	<p>T33,T34 T35-37 T42-44 T51-54</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技者は競技中ヘルメットを着用しなければならない。 ・競技者は競技中下肢がグラウンドに触れてはならない。 ・転倒等した場合、監察員は車いすを起こす等の手助けをすることはできるが、車いすを押す等の推進力を伴う行為はしてはならない。 ・800mのブレイクラインはコーン、角柱ではなく、今大会は50mm×50mmの平らなテープを用器具係が貼る。ブレイクライン両端に高さ1.5mのオープン旗を用器具係が準備し、監察員が設置する。 一つはインフィールドもうひとつはトラック外側に置く。車いすレースは高速で行われるため真横ではなく後方から監察する ・800m以上の車いすレースでスタートから50m以内にクラッシュが生じたときスターターと連携し選手を呼び戻す
【視覚障害】	<ul style="list-style-type: none"> ・競技者（T11）は競技中アイマスク、アイパッチ、不透明眼鏡または適切な代用品を装着しなければならない。 ・ガイドランナーの伴走がある場合、競技者はテザーによって繋がっていなくてはならない。競技中テザーが壊れた場合は、失格となる。 ・ガイドランナーが競技者より先にゴールラインを越えてはならない。 ・5000m以上のレースでは2名のガイドランナーを付けることができる。ガイドランナーの交代は1回のみ。交代は事前に申請された距離（周回）でバックストレート側で行う。申請があったにもかかわらず、ガイドランナーが交代しなかった場合は、失格となる。 ・競技者がつまずいたり、倒れた場合は、起こすために手助けしたり走る方向を指示することは問題ないが、後押しをしてはならない。 ・ガイドランナーは、競技中いかなる時点でも競技者を押す、引っ張る等をして前進を助けてはならない。
【下肢、上肢障害】	<ul style="list-style-type: none"> ・下肢用または上肢用の義肢を装着して競技開始した場合、その義肢を装着した状態で競技を終えなくてはならない。 ・下肢に機能障がいに伴う競技クラスT32-34、T35-38、T42-44、T51-54の競技者において、（下肢）矯正装具の使用は任意である。→監察員としてチェックするポイントではない。ファーストコールルーム →監察員としての判断は、矯正装具は義足と同じように途中で外れた場合は失格なのかどうか大切か ・競技クラスT32-34、T35-38、T45-47、T51-54では、上肢障害を有する競技者は、矯正装具の使用は任意である。

【ユニバーサル
レー】

- ・Ⅱ、Ⅲ、Ⅳコーナの監察員は選手をレーンに配置する。
- ・各レーンの出場選手は紙ベースで連絡（コールルームから選手誘導でくる競技者係もしくはボランティアが紙を持ってくる。）があるので、所定のレーンに選手を誘導する。
第4走者のテイクオーバーゾーンは40mである。（テイクオーバーゾーンの入口は事前に用器具係がテープを貼る）
- ・監察員が準備したマーカー用のテープを選手に渡す。レース終了後マーカーテープをはがす。

〈態勢〉

ITOs :

NTOs :

volunteer :

〈工程引継ぎ〉

競技者係：ユニバーサルレー時の運用について要確認

用器具：オープン旗、ブレイクマーク、テイクオーバーゾーンの準備設置について要確認

ビデオ監察員：違反があった際の連絡について要確認

トラック審判長：違反があった際の報告について要確認…（ITOと大会前の準備期間中に打ち合わせ）

Incident Report Form



KOBE 2024
 PARA ATHLETICS
 WORLD
 CHAMPIONSHIPS
 2024.05.17 - 25

Event

2024 PARA ATHLETICS WORLD CHAMPIONSHIPS

Date

/ 5 / 2024

Time

:

Heat Number

Semi-final Number

Final

Male

Female

Athlete Name

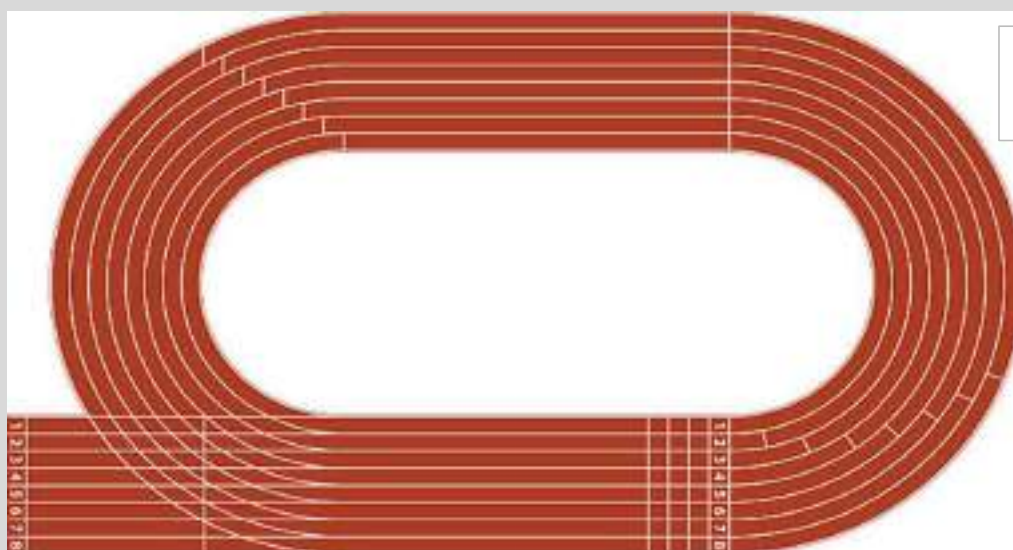
NPC Code

Class T11-13

Class T20

Classes T35-38/42-47/61-64

Class T32-34/51-54/71-72



X : Incident
 O : Umpire

Name

Number

Signature

Umpire

Description of the incident

Rule No.

Time of incident

Measurements taken?

If distance, Lap no.

Time handed to Referee

Rule number

Referee Name

Signature

**Reasons for Warning and/or Disqualification (DQ)
According to WPA Rules and Regulations March 2024 Edition**

	Rule	和訳	Action
General	5.4 (a)	その種目に出場するという最終確認がなされていたにも関わらず出場しなかった	DQ
	5.4 (b)	その種目に予選、準決勝において資格をえたにも関わらず、その後の競技をしなかった	DQ
	5.4 (c)	競技者、ガイドランナーが誠意を尽くして競技をしなかった	DQ
	5.4 (d)	招集所に報告をしていない	DQ
	6.9	衣類、靴、ピブスの規則を遵守していない	DQ
	6.12.1 (a)	T61-64 競技者が義肢を装着してレースを終了していない	DQ
	6.12.3 (a)	T45-47 競技者がレースの開始では義肢を装着していたが、レースを装着して終了していない	DQ
	6.15.3	テザーがレース中に壊れた	DQ
	6.18	競技またはウォームアップエリアで尿漏れがあった	DQ
	8.1	誠実に力を尽くしての参加、反スポーツマンシップ行為及び不適切な行為	YC/RC/YRC
Running, Wheelchair and Frame Running Events	7.3 (a)	同一レースに参加していない者にペースを得ること、周回遅れやあらゆる技術的な装置によってペースを得た	DQ
	7.3 (f)	前に進むための身体的な手助けを他の競技者から得た	DQ
	7.9.5	競技者/ガイドランナーが規則7.9に違反（例えば、フィニッシュ前にテザーを離れた、テザーを短くして持った）	DQ
	7.10.4	規則7.10に違反した（例えば、押す、引く、スリングショット、助力）	DQ
	7.12.2	ガイドの交代をしなかった	DQ
	17.8	不正スタート	DQ
	18.1 (b)	競技者またはガイドランナーが妨害をした	DQ
	18.3	車輪またはプッシュリムを押す以外の方法で車いすを進めた	DQ
	18.4	車いす及びフレームランニング競技で他の競技者を追い抜く際に妨害をした	DQ
	18.2(c)	レーン侵害（レーンで行うまたは一部をレーンで行うレースで）レーン外を走る/車輪が走る	DQ
	18.2 (d)	レーン侵害（レース全部または一部のレースがレーンを使わない）縁石の内側を走った/車輪が走る	DQ
	18.2(c or d)	同じ種目のいかなるラウンドでの2回目のレーン侵害	DQ
Running, Wheelchair and Frame Running Events	18.5 (c)	レーン侵害（レーンで行う及び一部をレーンで行うレース）曲走路でレーンの左側の線または縁石に1回（1歩）触れた 車いすの車輪-プッシュリムを2回押した フレームランニングの車輪-2歩地面を蹴った	L
	18.5 (d)	レーン侵害（レーンで行わないまたは一部をレーンで行わないレース）曲走路で縁石や線を1回（1歩）踏んだり、完全に超えたりまたは内側に入った	L
	18.6	レース中にトラックの縁石の内側に入り走りたりして実質的な利益を得た	DQ
	18.7	ブレイクラインの手前でレーンを離れた	DQ
	18.9	レース中にトラックを離れ、レースに戻った	DQ
	19.4	ガイドランナーが競技者より先にフィニッシュした	DQ
Relay Races	18.1	競技者の交代の後に他の競技者を妨害した	DQ
	18.2 (c or d)	同じ種目のいかなるラウンドでの同じチームメンバーによる2回目のレーン侵害	DQ
	23.5	規則23.5違反（例えばバトンを規定通りに運ばなかった、グローブを使用したまたは手に物質を塗る、落としたバトンの不適切な回収）	DQ
	23.6	規則23.6違反（例えばテイクオーバーゾーンの外側でのバトン渡し、テイクオーバーゾーンの中でバトン渡しが始まらなかった、有利になるために次走者を押した）	DQ
	23.9	他のチームのバトンを拾った	DQ
	23.10	1区間以上走った、チーム構成の変更	DQ
	23.11	申請したオーダーと違う競技者が走った、または順番が違った	DQ
	23.15	テイクオーバーゾーンの外側から走り始めた	DQ
	23.16	4x400m,4x200mにおいてテイクオーバーゾーンで走者が入れ替わった	DQ
	23.18	レーンが使用されていない4x400m、4x200mにおいてテイクオーバーゾーンで走者が入れ替わった	DQ
23.19	車いす競技者はテイクオーバーが完了するまで与えられた2レーンに留まらなければならない	DQ	
Road Races	49.6 (b)	競技者はガイドランナーの前でフィニッシュラインを越えなければならない	DQ
	49.10	競技者がコースを外れ距離を短くした	DQ
	49.14	ガイドランナーの交代を申告したが交代しなかった	DQ
	49.15	競技者が異なる競技クラスの競技者や、エンジンのついた車両または自転車の後ろに付いてドラフティングした	DQ
Yellow/Red Cards	8.1	反スポーツマンシップ行為及び不適切な行為（直接レッドカードになることもある）	YC/RC/YRC
	6.1.2	不適切に衣類を脱いだ	YC
	6.14.3	種目が終わる前にアイパッチ、アイマスクまたは透明な眼鏡をはずした	YC
	6.16.1	器具の不具合-レース用車いす、ランニング用フレーム、投てき台、義肢、ヘルメット、テザー及びアイマスクまたは不透明な眼鏡	YC
	6.17.3	競技者がヘルメットを外した	YC
	7.2	競技者が助力を与えたり受けたりした	YC
	7.3 (b)	通信機能があるビデオ装置、ラジオ、携帯電話もしくは類似の機器を競技区域内で所持または使用していた	YC
	7.3 (c)	認められていない用具、機械的補助用具を使用した	YC
	7.3 (d)	競技区域で競技役員から助言または支援を受けた	YC
	7.3 (e)	立位姿勢で競技する競技者が競技場所への移動に車いすを利用した	YC
	7.21	フィールド種目で認められていない補助をアシスタントが行った	YC
	17.5 (a)	正当な理由もなくスタートを阻止した	YC
	17.5 (b)	スタートを遅らせた	YC
	17.5 (c)	スタートを邪魔した	YC
	18.18	公式な供給所以外の人あるいは他の競技者または、及びガイドランナーの飲食物を取ったまたは受け取った	YC
	24.5	競技者自身の判断で試技順とは違う順番で試技を行った	YC
	24.19	競技者が許可なく競技場所を離れた	YC
	49.8 (h)	公式な供給所以外の人あるいは他の競技者または、及びガイドランナーの飲食物を取った	YC